

しゅうし じょうど しんしゅう
私たちの宗旨は浄土真宗です。

ほん ぞん
本尊
 しょうえ きょうてん
正依の教典

あみだにょらい
阿弥陀如来
 ぶっせつ むりょうじゅきょう だいきょう
仏説無量寿経（大経）
 ぶっせつ かん むりょうじゅきょう かんぎょう
仏説観無量寿経（観経）
 ぶっせつ あみ だきょう しょうきょう
仏説阿弥陀経（小経）

しゅう そ
宗祖
 しゅ ちよ
宗祖の主著

しんらんしょうにん
親鸞聖人
 けんじょうど しんじつきょうぎょうしょうもんるい
顕浄土真実教行証文類
 きょうぎょうしんしゅう
（教行信証）

宗派名

しんしゅうおおたに は
真宗大谷派

本山

しんしゅうほんびょう ひがしほんがんじ
真宗本廟（東本願寺）

所在地

京都市下京区烏丸通七条上る
 常葉町754番地



真宗大谷派
富山別院（東別院）

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目8の29
 TEL 076-421-3272 FAX 076-421-9799
<http://toyama.higashibetsuin.com/>

「振起」とは

富山東別院の正面に、別院創立記念碑が設置されている。昭和20年の富山空襲により一部破損しているが、明治初頭の廃仏毀釈と富山東別院創立を物語るモニュメントとして今日まで伝えられてきている。破損のため全文は読み取れないが、

明治三年に富山藩の合寺の旨の布れにより、教 [不明] 動揺させられた。一令で悉く寺院を毀(こわ)した。大政維新の国是、廢藩置県に移り変わり、その間信徒が再び振起(た)ち。振起(た)った後、明後年の明治十三年より富山城内の総曲輪城址に開き始めた。春三月十五日に建設を始める。これを本願寺と云う。

と刻まれているのが、かろうじて読み取れる。

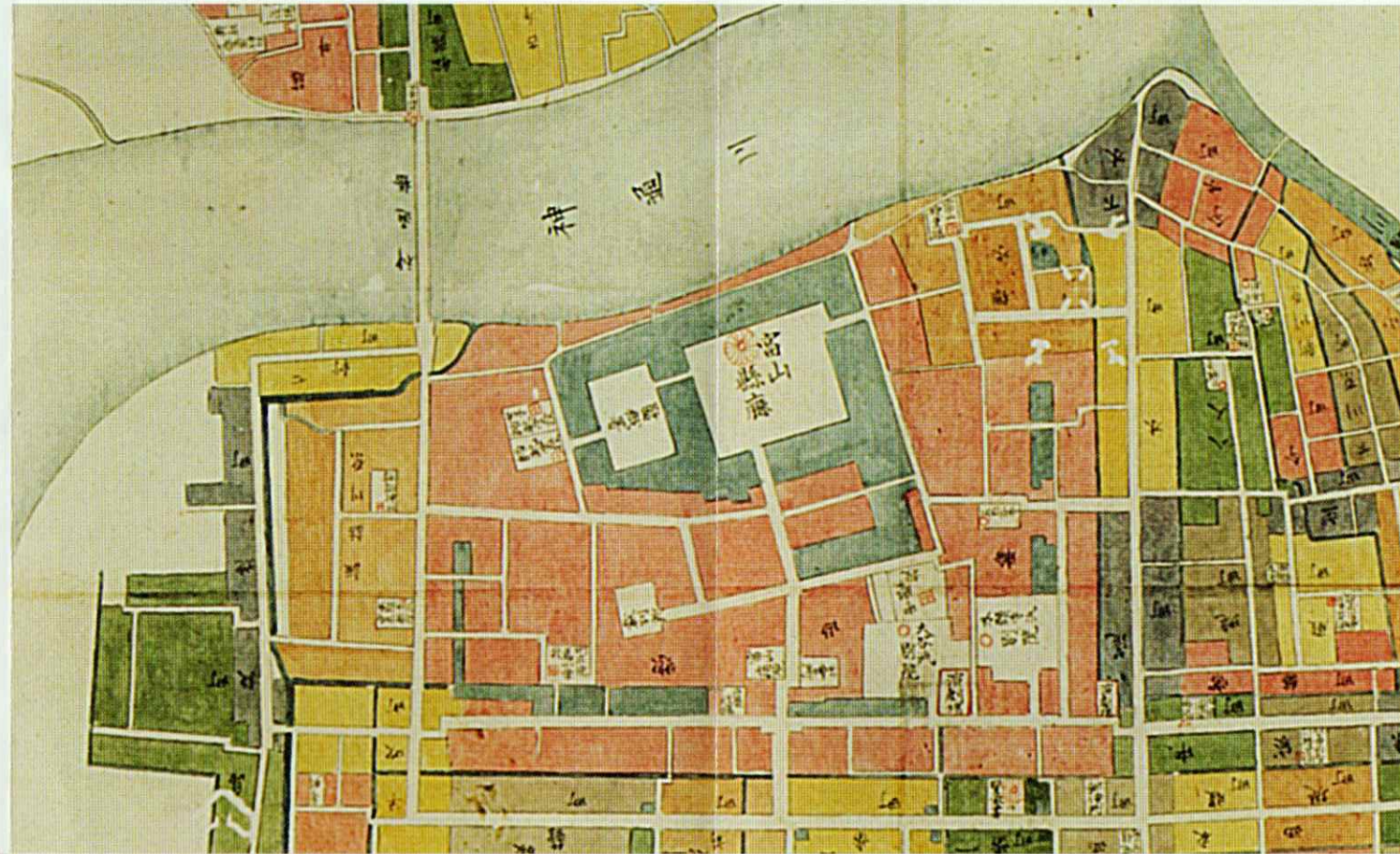
2010年発行の御遠忌記念出版「振起」の書名は、碑文中の門信徒による「振起」からいただいたものだが、それは偏に、富山東別院が地域の根本道場として今後歩んでほしいという願いからである。



真宗大谷派
富山別院（東別院）

略年表

- 1870(明治3)年 閏10月27日 合寺令発布
 1876(明治9)年 3月9日 合寺令全部解除
 1880(明治13)年 大谷派説教所設置
 1884(明治17)年 4月 大谷派説教所が別院に引直
 1886(明治19)年 神通川から土砂を運び、堀を埋め立てる「砂持奉仕」始まる
 1887(明治20)年 1月 本山から別院設立許可
 1888(明治21)年 11月 仮本堂完成
 1899(明治32)年 8月 富山大火で焼失
 12月 仮本堂再建
 1945(昭和20)年 8月 富山空襲で焼失
 1952(昭和27)年 3月29日 御遷仏法要
 1954(昭和29)年 6月 宮殿並びに梵鐘落慶法要・蓮如上人四五〇回忌法要
 巖如上人五十回忌・現如上人三十三回忌法要
 1963(昭和38)年 宗祖七百回忌法要
 1980(昭和55)年 創立百周年記念大法要
 1986(昭和61)年 富山東別院会館竣工
 2008(平成20)年 蓮如上人五百回御遠忌法要並びに宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌お待ち受け法要
 2014(平成26)年 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要



富山別院と廃仏毀釈

明治維新という日本が大変革された時代に、廃仏毀釈の嵐が富山藩を吹き荒れました。明治3年、藩内の仏教諸宗に対して一宗に一カ寺しか存続を認めない「合寺令」が断行されたのです。権力による激しい仏教弾圧によって、藩内の200以上の真宗寺院が取り壊されました。

念仏の灯火が消されそうになった地に、門徒たちは開法の間を求めました。明治19年、富山城の外堀を埋め立てて説教所の敷地にしようと「砂持奉仕」が実施されました。延べ7000人以上の人々が神通川から土砂を運び、埋め立てて、現在の総曲輪に寺地を築きました。これが富山別院の始まりです。

その後、明治32年の富山大火、昭和20年の富山大空襲

と、二度にわたって別院は焼失しています。しかし、その度に富山別院は、焼け跡から門徒衆のエネルギーによって復興され、現在、別院前に「別院創立記念碑」が安置されています。大空襲の焼夷弾によって前半部分は破壊されていますが、残った碑文から明治の廃仏毀釈を逆縁とし、門徒が「振起」(ふるいたつ) ことによって別院を設立したことが読み取れます。

日本近代史の荒波の中で、弾圧の中から生まれ、廃墟の中から蘇ってきた富山別院は、民衆による仏教復興のシンボルともいえましょう。先達から託されたこの別院を拠点として、「振起」を未来の衆生へと引き継いでいくために、今なにができるのか、なにをすべきなのか。私たちの取り組みが問われています。

年間行事

1月1日	初参り・初鐘の集い 修正会
3月	春の彼岸会
7月29~31日	暁天講座
8月1日	「八・一法要」戦死・戦災死者追弔法要兼申経法要
9月	秋の彼岸会
10月6~8日	富山別院報恩講
11月27~28日	宗祖親鸞聖人御正忌法要「ご満さん」

毎月のお勤め

毎日	朝のお勤め	7:00~	晨朝
12・13日	先門首御命日	12日 13:30	連夜
		13日 7:00	晨朝兼日中
14・15日	開基上人御命日	14日 13:30	連夜
		15日 7:00	晨朝
		10:00	日中【定例法座】
24・25日	蓮如上人御命日	24日 13:30	連夜
		25日 7:00	晨朝兼日中
		27日 13:30	連夜
27・28日	親鸞聖人御命日	28日 7:00	晨朝
		10:00	日中